

氏名 (法人にあっては名称)	ゼロワットパワー株式会社
住所	千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパスKOIL

自社等発電所(*1)の有無	有		
電気事業の概要	<p>1. 小売電気事業 バイオマス発電などの再生可能エネルギーを中心とした電気の小売事業を平成29年7月から実施しています。</p> <p>2. 発電所サポート バイオマスを燃料とした発電所の建設計画及び・運用支援 燃料調達支援</p>		
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	<p>1. 再生可能エネルギー比率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー発電所からの入札について専任担当者を配置し、北海道エリアから九州エリアまで再生可能エネルギーの調達に取り組んでいる。 バイオマス発電を推進するため、社内に構築・運用に関する組織を設置。 再生可能エネルギー100%の電力プランを設定し、お客様へ積極営業を展開。 <p>2. オフィスでのCO2削減の推進体制 環境マネジメントシステム (ISO14000) に基づく管理責任者を中心に目標設定 および施策の実行管理を行っている。</p>		
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度実績 (2019年度)	0.099 (kg-CO ₂ /kWh)	0.419 (kg-CO ₂ /kWh)
	当年度目標 (2020年度)	0.050 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)
	短期目標 (2021年度)	0.050 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)
	長期目標 (2030年度)	0.050 (kg-CO ₂ /kWh)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)
	(目標に係る措置の考え方)		
	原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針。		

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(実二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2019年度)	14 (千kWh)	5.70 (%)
	当年度目標 (2020年度)	25 (千kWh)	9.20 (%)
	短期目標 (2021年度)	38 (千kWh)	12.70 (%)
	長期目標 (2030年度)	44 (千kWh)	15.30 (%)
(目標に係る措置の内容)			
自社のバイオマス発電関連事業を推進し、自前の自然エネルギー源を確保する。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2019年度)	248 (千kWh)	79.00 (%)
	当年度目標 (2020年度)	273 (千kWh)	91.00 (%)
	短期目標 (2021年度)	298 (千kWh)	91.00 (%)
	長期目標 (2030年度)	357 (千kWh)	91.00 (%)
(目標に係る措置の内容)			
原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針。 自社のバイオマス発電事業を推進し、自前の自然エネルギー源を確保する。 再エネ(オフセット)電力、再エネ(非FIT)100%電力等のメニュー展開・推進			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	他の地域では、ごみ発電所等からの電力調達実績があります。 広島市へ供給する電気については、未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給は行っておりません		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	火力発電所は所有しておりません		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	調整後CO2排出係数0.00 (kg-CO2/kWh)のメニュー利用の推奨を行っています。 希望するお客様向けに、電力利用状況を踏まえた節電のアドバイス等を行っております。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	ISO14000取得による事務所の省CO2化推進 持続可能なバイオマス燃料の研究開発の推進 (資源作物の活用、バイオマス液体燃料の改質など)		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー(太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして継続的に使用することができるもの)による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分を除いたものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、上記の発電量を自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分を除いたものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物(バイオマスを除く)の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。